

札幌北高定時制だより

令和7年度 第7号 2026.3.19

令和7年度第70回卒業証書授与式 — 4年間の想い、3年の決意を讃えて —

3月1日、令和7年度卒業証書授与式が挙行されました。4年間の課程を全うした14名、三修制で3年間を駆け抜けた2名。合わせて16名の卒業生が、学び舎を巣立ちました。

佐賀校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡され、受け取った卒業生達は実に晴れ晴れとした表情で堂々とした立ち振る舞いを見せ、大変立派でした。



定時制通信制教育振興会からの表彰式では、模範となる努力を続けた生徒たちの名前が読み上げられ、酒井後援会長から表彰状が手渡されました。酒井会長から表彰を受ける生徒たちの返事や立ち振る舞いには、静かな自信と誇りが溢れており、後輩達の目指すべき良き手本となっていました。



また、校長やPTA会長からのお言葉では、彼らの高校生活を讃える温かい言葉と将来に向けた激励の言葉がたくさん贈られました。特に校長式辞では、卒業生に向けて「レジリエンス」という言葉が贈られました。これは「困難に直面しても、しなやかに立ち直る力」を意味します。仕事と学業の両立に悩み、時には立ち止まりそうになったこともあったでしょう。しかし、皆さんはそのたびに自分を立て直し、卒業を迎えました。今後もこの事を胸に新たな道を歩んで欲しいと願っています。



送辞と答辞は、とても実直で素晴らしい内容でした。特に答辞では、4年間を振り返るその一言ひとことに実感が込められており、聞く人たちが深く共感し、胸を熱くするような素晴らしいものでした。



卒業生の皆さんがこの学び舎で示した「諦めずに努力する」ことは、これからの人生において、どんな資格や経歴よりも強力な支えとなります。

改めて皆さんの新しい旅立ちを心から祝福します。卒業、本当におめでとうございます。



卒業生が下校するときには、キャンドルでライトアップしました。卒業生が下校するとき、キャンドルのやさらかな明かりの中、本校で友人達と過ごした時間をかみしめながら家路についてくれたら嬉しいです。

寒い中、雪の土台を作り、キャンドルをセッティングして、卒業式直後に点灯し、卒業生の下校後に全ての片付けまで行ってくれた生徒会の皆さん、ありがとうございます。